

年次支部協議会出席者名簿（平成28年3月12日）

年 次 支 部 協 議 会					懇 親 会			
年次	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員会	支部長	幹事長	副支部長等	支部協議会役員
29	中村茂八郎		志邨 守夫				志邨 守夫	
30	堀合 辰夫				堀合 辰夫			(堀合 辰夫)
31			遠藤 喬介 佐野 榮				遠藤 喬介 佐野 榮	
32		猪野 邦司	吉野 實 佐藤 義				吉野 實 佐藤 義	
35	金川 護	成清 治道			金川 護	成清 治道		
36	吉岡 昌昭	石川 捷敏			吉岡 昌昭	石川 捷敏		
37	庭山 卓	川島 豊臣	慶野 弘子 杉橋 好春		庭山 卓		慶野 弘子	
38			西 章					
39	白石 紀一		柳田 晋二 小竹 正倫 高橋 丈雄	(小竹 正倫) (高橋 丈雄)	白石 紀一		柳田 晋二 小竹 正倫 高橋 丈雄	(柳田 晋二) (小竹 正倫) (高橋 丈雄)
40	佐々木幸男	西山 勝凱	新井 嘉昭 新井 孚	(佐々木幸男)	佐々木幸男	西山 勝凱	新井 嘉昭 新井 孚	(佐々木幸男)
41			柳下 敏男				柳下 敏男	
42	小林 定寿	小島 輝一(代 行)	鈴木 康二 高橋 洋		小林 定寿	小島 輝一(代 行)	高橋 洋	
43		清水 正	小塚 正人					
44	吉永 匡宏	山岡 静子	松木 茂夫	(松木 茂夫)	吉永 匡宏	山岡 静子	松木 茂夫	(松木 茂夫)
45	相場 有二	山城 博光	平岩 弘邦	(相場 有二) (平岩 弘邦) (山城 博光)	相場 有二	山城 博光	平岩 弘邦	(平岩 弘邦) (山城 博光)
46	半澤 勉	遠藤 一義	才野 智裕	(才野 智裕)	半澤 勉	遠藤 一義	才野 智裕	(才野 智裕)
48	山口 隆司	佐藤 愛子	小田 眞一	(佐藤 愛子) (小田 眞一)	山口 隆司	佐藤 愛子	小田 眞一	(佐藤 愛子) (小田 眞一)
54	掛水 省三		伊藤 充	(掛水 省三)				
57	浜田 英明	乗兼 浩明	東谷 由香	(乗兼 浩明)	浜田 英明	乗兼 浩明	東谷 由香 田川 厚子	(乗兼 浩明)
58		柳 幸季				柳 幸季		
59	林 裕治				林 裕治	堀淵 茂		
元	竹内 恒雄	小川 学		(小川 学)		小川 学		(小川 学)
2	山本 卓			(山本 卓)				
3		糸井 克廣					秋池 智子	
11		久保 良太		(久保 良太)				
26		長谷部由莉	黄 韵議					
計	17名	17名	24名	(15名)	13名	12名	20名	(13名)

### 【年次支部協議会全体会議】

- 1 開催日時 平成 28 年 3 月 12 日（土） 15 時 00 分～17 時 00 分
- 2 場 所 中央学駿河台記念館 550 号室
- 3 議 題 (1) 平成 27 年度事業実績について  
(2) 平成 28 年度事業計画案について  
(3) 平成 28 年度予算計画案について  
(4) 平成 28 年度～平成 29 年度の代表幹事（案）の承認について  
(5) 平成 28 年度～平成 29 年度の執行役員（案）の報告について  
(6) 学会役員候補者選考委員会 委員選考結果報告・承認について  
(7) 募金推進委員会（仮称）の新設の報告について  
(8) その他  
①白門 2016 年支部設立に向けた卒業パーティーについて

### 【年次支部協議会執行部役員会議】

- 1 開催日時 平成 28 年 3 月 12 日（土） 13 時 30 分から 14 時 40 分
- 2 場 所 中央学駿河台記念館 550 号室
- 3 議 題 (1) 平成 27 年度事業実績について  
(2) 平成 28 年度事業計画案について  
(3) 平成 28 年度予算計画案について  
(4) 平成 28 年度～平成 29 年度の代表幹事（案）の承認について  
(5) 平成 28 年度～平成 29 年度の執行役員（案）の報告について  
(6) 学会役員候補者選考委員会 委員選考結果報告・承認について  
(7) 募金推進委員会（仮称）の新設の報告について  
(8) その他  
①白門 2016 年支部設立に向けた卒業パーティーについて

### 【懇親会】

- 1 時 間 同日 17 時 10 分～19 時 10 分
- 2 会 費 4,500 円
- 3 場 所 中央大学駿河台記念館「プリオール」 1 階

## 年次支部協議会平成 27 年度事業計画報告

### 会議など

#### (1) 年次支部協議会全体会議

##### ア 第 1 回

日時：平成 27 年 5 月 30 日（土） 16：00～17：00 懇親会 17：30～19：30

議題：平成 26 年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成 26 年度決算報告について

：平成 27 年度事業計画案について

：平成 27 年度予算計画案について

：学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介

：ホームジングデーの実施内容について

：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成 28 年 3 月）に伴う幹事候補者の推薦について

：その他報告事項について

##### イ 第 2 回

日時：平成 27 年 12 月 19 日（土） 16：00～17：00 懇親会 17：30～19：30

議題：平成 27 年度事業計画の進捗状況について

：平成 28 年度事業計画案方針について

：平成 28 年度予算案方針について

：平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について

：その他報告事項について

##### ウ 第 3 回

日時：平成 28 年 3 月 12 日（土） 15：00～17：00 懇親会 17：10～19：10

議題：平成 27 年度事業計画実績について

：平成 28 年度事業計画案について

：平成 28 年度予算計画案について

：平成 28 年度～平成 29 年度代表幹事（案）の承認について

：平成 28 年度～平成 29 年度執行役員（案）の報告について

：学会役員候補者選考委員会 委員選考結果報告・承認について

：募金推進委員会（仮称）の新設の報告について

：その他

白門 2016 年次支部設立に向けた卒業パーティーについて

#### (2) 執行部役員会議

##### ア 第 1 回

日時：平成 27 年 4 月 23 日（木） 18：30～21：00

議題：平成 26 年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成 26 年度決算報告について

- : 平成 27 年度事業計画案について
- : 平成 27 年度予算計画案について
- : 学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介
- : ホームシングデイの実施内容について
- : その他報告事項について

ウ 第 2 回

- 日時：平成 27 年 9 月 24 日（木）19：30～21：00
- 議題：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成 28 年 3 月）に伴う幹事候補者の推薦について
- : その他報告事項について

エ 第 3 回

- 日時：平成 27 年 12 月 19 日（土）14：00～15：30
- 議題：平成 27 年度事業計画の進捗状況について
- : 平成 28 年度事業計画案方針について
- : 平成 28 年度予算案方針について
- : 平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について
- : その他報告事項について

ウ 第 4 回

- 日時：平成 28 年 1 月 14 日（木）19：30～21：00
- 議題：平成 28 年度年次支部新執行部役員案・幹事候補案の承認について
- : 平成 27 年度事業計画の進捗状況について
- : 平成 28 年度事業計画案方針について
- : 平成 28 年度予算案方針について
- : 平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について
- : 平成 28 年度スケジュール案について
- (執行部役員会平成 28 年 4 月 21(木):年次支部協議会平成 28 年 6 月 30 日(木))
- : その他報告事項について

エ 第 5 回

- 日時：平成 28 年 3 月 1 日（月）19：30～21：00
- 議題：年次支部協議会幹事一覧表（報告）
- : 年次支部協議会執行部役員一覧表案  
（募金委員会の新設）
- : 学員会役員の改選について
- : 「白門 2016 年」支部設立に向けた卒業パーティーについて
- : 大学支援委員会の報告

平成28年3月12日

年次支部協議会平成28年度事業計画（案）

1 基本方針（規約第2条）

- (1) 年次支部との連携・親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を推進する。
- (2) 中央大学及び学会の発展・興隆に寄与する。
- (3) 新設支部の結成支援を行う。

①白門会2016年会支部（平成28年3月卒業）

2 会議など

(1) 年次支部協議会全体会議

ア 第1回（予定）

日時：平成28年5月14日（土） 会議 15:00～17:00 550号室  
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成27年度事業報告について（各委員会報告含）

- ：平成27年度決算報告について
- ：平成28年度事業計画案について
- ：平成28年度予算計画案について
- ：ホームシングデーの実施内容について
- ：その他報告事項について

イ 第2回（予定）

日時：平成28年12月17日（土） 会議 15:00～17:00 550号室  
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：その他報告事項について

ウ 第3回（予定）

日時：平成29年3月11日（土） 会議 15:00～17:00 550号室  
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：平成29年度事業計画案方針について
- ：平成29年度予算案方針について
- ：その他報告事項について

(2) 執行部役員会議

ア 第1回

日時：平成28年4月21日（木）19：30～21：00

議題：平成27年度事業報告について（各委員会報告含）

- ：平成27年度決算報告について
- ：平成28年度事業計画案について
- ：平成28年度予算計画案について
- ：ホームジングデイの実施内容について
- ：その他報告事項について

イ 第2回以降必要に応じて実施予定

日時：平成28年5月14日（土）14：00～15：00

議題：平成27年度事業報告について

- ：平成27年度決算報告について
- ：平成28年度事業計画案について
- ：平成28年度予算計画案について
- ：ホームジングデイの実施内容について
- ：その他報告事項について

ウ 第3回（予定）

日時：平成28年12月17日（土）14：00～15：30

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：その他報告事項について

エ 第4回（予定）

日時：平成29年2月10日（金）19：30～21：00

議題：平成29年度事業計画案方針について

- ：平成29年度予算案方針について
- ：その他報告事項について

オ 第5回（予定）

日時：平成29年3月11日（金）14：00～15：30

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：平成29年度事業計画案方針について
- ：平成29年度予算案方針について
- ：その他報告事項について

3 各委員会実施事項

- |                 |                |             |
|-----------------|----------------|-------------|
| (1) 募金推進委員会（仮称） | (4) IT推進委員会    | (7) 広報部（会報） |
| (2) 学員交流委員会     | (5) 大学支援委員会    |             |
| (3) 学生支援委員会     | (6) スポーツ応援団委員会 |             |



## 年次支部協議会平成28年度予算編成について

### 1. 収入の部

- (1) 年度会費は前年度を基に計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(約3回分)
- (3) 事業活動費は事業支援費等に対する助成金(学生支援・広報活動)を見込んで計上。
- (4) その他の収入は、普通預金利息を計上、模擬店売上は不確定のため項目のみ計上した。

### 2. 支出の部

- (1) 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
- (3) 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会事務局文具費等を計上。
- (5) 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
- (6) 事業支援費
  - ① 学員交流委員会へは若年年次支部へ積極的な働きかけを行うための経費として。
  - ② 学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動費として計上。
  - ③ IT化推進委員会へは年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
  - ④ 大学支援委員会(大学が行うグローバル化の情報収集及び支援等)。
  - ⑤ 広報部は年次支部協議会会報の年2回発行(卒業生配付用含む)を予定し計上。

## 平成28年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	300,000	会議会合費	600,000
懇親会費	400,000	通信費	60,000
事業活動費	1,130,000	印刷費	40,000
学生支援委員会	330,000	消耗品費	10,000
広報活動費(会報発行)	700,000	手数料	5,000
年次支部活動費	100,000	事業支援費	1,280,000
その他の収入	600	学員交流委員会	50,000
利息収入	600	学生支援委員会	330,000
模擬店売上 (ホームカミングデイ)	0	IT化推進委員会	100,000
		大学支援委員会 (グローバル化支援)	65,000
		スポーツ応援団委員会 (箱根駅伝横断幕設置等)	35,000
		広報部(会報発行)	700,000
小計	1,830,600	小計	1,995,000
前期繰越金	3,570,035	次期繰越金	3,405,635
合計	5,400,635	合計	5,400,635

平成28年3月12日

年次支部協議会

会計幹事 平岩弘邦



2015 大学支援委員会 実施報告

1. 4つのテーマで活動

- (1) 大学のグローバル化推進を支援する。
- (2) 学生の実務教育について支援する。
- (3) 学生と企業や国、学生と地元との連携を支援する。(産学官連携、地域・地方支部との連携)
- (4) 学生スポーツの応援 (スポーツ応援団との連携協力)

2. 実施報告

(1) について、

- ① 中央大学国際センターに協力し、大学で10月に開催された、文部科学省主管の「GO GLOBAL 英語プレゼンテーション大会」の学内予選に、年次支部協議会が協賛(図書券等贈呈)を行なった。
  - ・ 学生参加者数9組36名であり、その後のティーパーティで懇親を深めることができた。(11月に関東地区18大学の中、決勝の8大学に選出されたが、入賞を惜しくも逃した。)
- ② 中央大学国際センターを通じ、ハワイ中央大学事務所(ハワイ大学マヌア校)を紹介いただき(仮称)ハワイ学会との連携のお手伝いを開始した。
  - ・ 12月に、当委員会委員が現地の学員数名と意見交換し、留学生の支援体制について協議を行なった。

(2) について

- ① 大学の関係部所(クレセントアカデミーやキャリアセンター等)と協議を行なったが、日程的に学生向け講演会を実施できなかった。
  - (但し、学員のボランティア講師として、8名の方からご協力の了解をいただいた。)
- ② 大学で行なわれている学部横断的勉強会に委員が参加した。
- ③ 経済学部ゼミ連合会と協議を開始した。

(3) について

- ① 地方創生、地域連携に関し、学員である県会議員の紹介で委員会委員が、香川県東京事務所副所長、香川県産業企画部長と面談した。
- ② 多摩ニュータウンの再生について、協力学員から都市機構等に打診を行なってもらった。
- ③ 空家、シャッター通りの再生について、検討会を行なった。

(4) について

箱根駅伝選手応援のため、小田原在住の白門45会会員のご協力により、箱根大平台に横断幕を設置することができた。

※ (1) (2) (3) のテーマについて、講演会、関係者面談等の活動を積極的に実施した。

以上

## 2016 大学支援委員会事業計画

### I ※大学支援委員会の目的 『中央大学を支援し、ブランドの圧倒的な向上に寄与する。』

- (1)大学のグローバル化推進を支援する。
- (2)学生の実務教育について支援する。
- (3)社会的な課題への取組みや地域貢献を行なう実行団体に協力する。
- (4)学生スポーツの応援 (スポーツ応援団との連携協力)

#### 1. グローバル化支援活動……国際的に活躍できる人材の育成

- ①中央大学国際センターと連携し、「GO GLOBAL」英語プレゼンテーションコンテストの学内選考会に協賛を行う。⇒参加学生に図書券を贈呈(協賛: 学員会年次支部協議会が明記)
- ②日本人学生と留学生の自然な交流の支援を行う。(学生主催イベントへの支援)  
文化交流(お祭りや音楽会等の開催の支援)を通じて、それぞれの国の理解が自然に進むような仕組みを構築する。
- ③学員会海外支部との連携を強化し、海外の大学に留学している中央大学学生への支援体制を構築する活動を行う。⇒当面(仮称)ハワイ白門会とハワイ大学留学生との交流協力を行う。
- ④中央大学学生の海外留学促進のための奨学金制度の充実(課題として検討)  
(現在: 60名の枠、一人当たり20~30万円/年、年間約100名が留学……不十分では)

#### 2. 実地教育支援「建学の精神: 実地応用の素を養う」

- ①経済学部矢商学部のゼミ連合会と連携し、一流の経済人を輩出できるような支援を行う。
- ②学部横断的勉強会(例: 土曜塾)へ参加し連携、協働を行う。

#### 3. 社会的な課題への取組みや地域貢献(文系学部)について協力を行なう。

- ①地方創生……地方の活性化に寄与⇒地方支部との連携
- ②地域連携、地域貢献……学生ボランティア活動への支援
- ③空家問題、多摩ニュータウンの再生、シャッター通りの再生等⇒都市機構、商店街との連携

#### 4. 学生スポーツの応援 (スポーツ応援団との連携と協力)

- ①箱根駅伝応援のため、箱根大平台に「闘魂たぎる火と燃えよ!」の横断幕を設置する。  
今期は、新たに箱根湯本に大型縦幕を設置すべく推進する。(先輩学員の提案による)
- ②東京オリンピックに多くの学生、学員が出場できるよう強化支援や応援を積極的に行う。

以上

## II 計画と予算

### 1. について

#### ①国際センターとの連携について

##### ・スケジュール

- 2月 中央大学国際センターとの協議開始
- 10月 中央大学英語プレゼンテーション大会
- 11月 18大学による本選

・予算 50,000円（参加学生へ図書券を贈呈）

※②③については、検討、協議が進行中です。今後の活動について、ご協力をお願いします。

④は課題として検討します。

※その他の活動として、「グローバル」に関する講演会や関係する人との面談打ち合わせを実施しています。（希望者にはご案内します。）

・今年は、2/29 NPO 法人日本紛争予防センター理事長瀬谷ルミ子氏（中央大学総合政策学部 1999年卒業）講演会「グローバル人材とは」に出席し、面談することができました。

・今後も同様の活動を行います。

### 2. について

#### ①経済学部ゼミ連合会への協力について

##### （1）スケジュール

3月から9月は、ゼミ連と学员との協議を実施、当面知的支援のみを行います。

10月 ゼミ連合会発表会

（2）予算について、当面必要ありません。

②について、連携協働を進めます。（4月からの勉強会に参加希望の方は、お知らせください。）

### 3. について

①②③について、地方支部との連携協力、学生ボランティア団体、ゼミとの連携を模索中です。皆様のご協力をお願いします。（予算は、当面必要ありません。）

・講演会等に出席し、関係先を訪問し協議します。

### 4. について

#### ①箱根大平台に年次支部協議会の横断幕「闘魂たぎる火と燃えよ！」の横断幕を設置します。

##### （1）スケジュール

12月 地主様挨拶、横断幕を設置します。（小田原在住、白門45年会会員のご協力による）

1月 スタート地点、往路、復路、ゴール地点で各支部応援

（2）予算 50,000円（謝礼、備品購入、交通費、宅配料等）

②学生スポーツの応援を、スポーツ応援団のもとに行います。

## 年次支部学員交流委員会 平成27年度事業報告

### 活動実績

- ① 権守前交流委員長退任の為、野球応援観戦後、慰労会などの企画を変更しスポーツ応援委員会と協力して、箱根駅伝予選会応援、箱根駅伝応援を実施
- ② 創立130周年記念ホームカミングデー（10月25日開催）時の2015新支部設立に向けて、支援協力体制を整える
  - ・ 記念式典では壇上で分部由莉子2015年新支部長が支部旗を授与され、新支部設立を承認されたのに伴い祝賀会を多摩キャンパス学食で開催。各年次支部長はじめ各支部2名の参加要請を依頼、15支部 25名程の参加ご協力を戴いたが、2015年卒業生の参加が少数の為、次年度での参加者誘致の方法など再考すべき反省点が残った。
- ③ 2016年新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等の協力）

2016年卒業準備会メンバーや2015年新支部のメンバーとのミーティングなどを通じて、今年度も卒業パーティ等の協力支援を継続的に実施。

**実施例**～44会支部長の発案で、今後、新支部への支援協力の一環として44・45会支部総会等に招待し、若手支部育成や交流の足掛かりしていくことの協力申し出があり、12月5日忘年会に5名が招待を受け交流を図った。
- ④ 平成27年度第2回全体会（平成27年12月19日）に於いて学員会年次支部担当の室副会長による【マイナンバー制度】についての講演会を開催。

### 今年度の事業予算

50000円

内容 若手支部会員との交流懇親会開催ほか

## 年次支部学員交流委員会 平成28年度事業計画

### 1、 事業の目的

- ① 年次支部の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を図る
- ② 2016年度新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する
- ③ 中堅年代支部（昭和50年代～平成元年）との交流懇談会の開催により、各世代間の理解を深め連携を図る

### 2、 今年度の事業概要

- ① 2017年度新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等の協力）
- ② 若手支部・中堅支部会員との交流会を開催し、世代間の理解と親睦を深める
- ③ 昭和世代の懇親イベント、各支部間の情報交換、交流のサポート
- ④ 解散支部（昭和26年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）

### 3、 事業予算 50000円

- 内容 ・新支部への協力支援  
・中堅支部・若手支部会員との交流懇親会開催 等

## 2016年度学員会年次支部協議会 幹事（推薦）名簿

（平成28年4月1日）現在

年次	支部長	幹事長	副支部長等	年次	支部長	幹事長	副支部長等
S27	瀧野 秀雄	宇津木孝一		48	山口 隆司	佐藤 愛子	小田 眞一 榎本 眞一
28	田頭 達市	白鳥文次郎	丸吉 孝也 内本 篤弥	49			
29	中村茂八郎	石嶋 要吉	志邨 守夫	50	山井 俊昭		
30	堀合辰夫	松浦 治	加藤 段一	51			
31	長瀛 富雄	山口 隆	遠藤 喬介 佐野 榮	52	支部設置無		
32	岩瀬 順郊	猪野 邦司	吉野 實 佐野 義	53	野田 明利	高橋 文秀	
33				54	掛水 省三		
34	勇伊 博司	相澤 克典	宮崎 雄文	55	川島 正博	岩崎 良三	
35	金川 護	成清 治道	綻石 一彦 松橋 正	56			
36	吉岡 昌昭	石川 捷敏	高橋 利夫	57	浜田 英明	乘兼 浩明	
37	庭山 卓	川島 豊臣	慶野 弘子 杉橋 義春	58	内山 勢	柳 幸季	武田佳代子 吉住 康
38	宮沢 公廣 (代行)	久保 雅孝	西 章 柴田 輝男	59	林 裕治	堀渕 茂	田邊 幸紀 鬼頭 淳子
39	白石 紀一	中村 利夫	小竹 正倫 高橋 丈雄	60			
40	佐々木幸男		新井 孚 西山 勝凱 新井 嘉昭	61	支部設置無		
41			柳下 敏男	62			
42	小林 定寿	小島 輝一	高橋 洋 鈴木康二	63	梅沢 博文	松尾あずさ	土田 一博
43				平元		小川 学	
44	吉永 匡宏	山岡 静子	松木 茂夫 福田 嘉尚	2	山本 卓	清水 裕之	坂田 眞實 大島 幸嗣
45	相場 有二	山城 博光	平岩 宏邦 竹谷 光子	11		久保 良太	
46	半澤 勉	遠藤 一義	増田 晃次郎 才野 智裕	19		間宮 康之	佐村 大侑
47				25			岩倉 史門
				27	分部由莉子	長谷部由莉	茂木 美由紀

## 幹事(含常任幹事)・会計監事名簿

(任期:平成25年6月1日～平成26年6月31日)

( )内数字は常任幹事内数

平成26年10月16日現在

推薦分野	選任数	幹	事	(大印は常任幹事)	会計監事	
年次	11	大庭山 卓	大増田 晃次郎	大佐藤 愛子	堀合 辰夫	平岩 弘邦
		松本 将男	松本 茂夫	相塚 有二	山城 博光	
		(3)小田 真一	野田 明利	川島 正博		
地域	27	檜森 聖一(札幌)	鈴木 寛則(宮城)	吉田 重信(秋田)	斎藤 一彦(いわき)	
		野本 晃也(栃木)	後地 俊男(千葉)	大石塚 康夫(練馬区)	大阿部 勲(江戸川区)	
		尾崎 久夫(中野区)	松橋 正(中野区)	白沢 節子(杉並区)	松沼 茂(文京区)	
		馬場 賢(世田谷区)	中村 浩紹(江東区)	小山 浩伸(港区)	河西 紀道(墨田区)	
		(2)栗山 博樹(日野)	佐々木 国夫(調布)	逸田 幸蔵(小金井)	菅原 進(川崎)	
		片岡 久興(藤沢)	天野 正明(名古屋)	松村 安之(大阪)	浅田 善隆(奈良)	
		二国 則昭(広島)	下川 真一(福岡)	福永 力三(熊本)		
法曹会	23	大坂巻 國男	大坂 一秀 <small>(国選長担任2014.6.2)</small>	大根岸 清一	安藤 良一	舟橋 定之
		大高 満範	大石田 茂	山岸 憲司	福田 寛	
		水津 正臣	瀬川 徹	森田 憲右	山本 隆幸	
		(4)篠原 由宏	横溝 高至	若江 健雄	八木 清文	
		田宮 武文	柳澤 泰	小笹 勝草	行方 美彦	
		土井 隆	水庫 正裕	小関 勇二	鈴木 康洋	
南甲倶楽部	12	大江口 雅夫	大坂 一秀 <small>(国選長担任2013.6.1)</small>	大久保 伸一	大森 清司	中川 隆雄
		(2)羽谷 信雄	川手 正一郎	神崎 茂治	馬場 一秀 <small>(幹選2013.5.10)</small>	
		清水 正行	鈴木 貞勝	中村 重郎	大中山 吉史	
		前島 一夫	升本 喜一			
学员体育会	11	田中 季夫	大川島 豊臣	坂本 明夫	大松原 誠	山内 敬光
		山田 鈞也	岩崎 正恭	富永 幸雄	藤井 秀男	
		(3)小園 雅孝	大荒井 清隆	久保 圭介		
国会白門	5	大高村 正彦	大二階 俊博	遠藤 利明	坂本 剛二	
	(2)	今津 寛				
会計4支部	5	大荻野 弘康	高畑 公一	岩田 克夫	宮内 忍	鈴木 康二
	(1)	遠藤 忠宏				
女性白門会	5	阿部 豊子	安藤 綾子	大宇田川 濱江	大栗生 貞子	
	(2)	野口 和子				
白門弁理士倶楽部	1	(1)大浅野 勝美				
その他	22	大青山 和夫	關山 憲一	川端 好夫	串山 宏太郎	
		大黒澤 功記	佐藤 博俊	佐藤 正勝	澤島 政夫	
		舌間 久芳	杉本 代八郎	千代 修 <small>(幹選2014.9.25)</small>	瀧野 秀雄	
		(4)田中 克郎	錦島 明人	二澤 和夫	西山 明行	
		走出 保雄	浜野 茂	治田 秀夫	堀中 新一	
		前多 喜雄	大山下 一明	大吉田 卓		
大学役員(常任理事)	1	(1)大松丸 和夫				
大学役員(学部長)	1	(1)大石井 洋一				
教員	14	井上 彰	北 彰	石川 利治	米田 真	
		大酒井 正三郎	斎藤 叫	齋藤 邦夫	梅田 正隆	
		(2)鈴木 俊幸	堤 和暹	大平野 辰和	小関 誠三	
		二羽 和彦	久保田 敬一			
職員	8	相澤 勝	大中村 晋	二澤 英治	野口 哲朗	
		(1)堀中 正	眞島 和己	松原 敏隆	山中 滉	
合計	146					5
	(28)					

平成28年 学員会役員改選数

支部・団体等分野		会長	副会長	常任幹事	幹事	会計監事	
支部	年次		2	3	11	1	
	平成年次		1				
	地域		6	2	27		
	職域	法曹会	1	4	24	1	
		南甲倶楽部	1	3	14	1	
		学員体育会	1	3	11	1	
		国会白門	1	2	5		
		会計3支部	1	1	5	1	
		東京検察			1	1	
		女性白門会	1	2	5		
		白門弁理士倶楽部			1	1	
		その他		3	3	22	
	大学役員	学部長		1	1	1	
常任理事			1	1	1		
教職員	教員			2	14		
	職員			1	8		
計		1	20	* 30	150	5	

\* 常任幹事は幹事の内数



## 年次支部協議会全体会議

### 議題（4）補足

【平成 28 年度～29 年度の代表幹事（案）】の承認について

- 1 新代表幹事氏名  
相場 有二（45 年支部支部長/年次支部協議会幹事）
- 2 中央大学学員会年次支部協議会会則に基づき選出
  - (1) 第 5 条 1 項（幹事の中から任期 2 年の代表幹事 1 名を選出する）
  - (2) 第 5 条 2 項（代表幹事は各年次支部の幹事の中から候補者を選考して年次支部協議会にて承認を受けた後年次支部協議会の業務を主宰する。）

### 議題（5）補足

【平成 28 年度～平成 29 年度の執行部役員（案）】の報告について

- 1 別紙中央大学年次支部協議会執行部役員一覧 案 参照
- 2 中央大学学員会年次支部協議会会則に基づき選出
  - (1) 第 5 条 3 項（幹事の中から任期 2 年の副代表幹事 10 名以内、事務局長 1 名、事務局次長 2 名以内、広報部長 1 名、会計幹事 1 名及び会計監査 1 名（以下「執行部役員」という）を選出する。但し各年次支部から執行部役員は 3 名以内とし 1 任期に限り再任を妨げない。）

### 議題（6）補足

【学員会役員候補者選考委員会】選考委員について選考結果の報告・承認について

- 1 選考委員会の結果 指名した選考委員（学員会からの要請人員は 2 名）  
松木 茂夫（代表幹事）  
相場 有二（45 会支部長）
- 2 中央大学学員会年次支部協議会会則に基づき選出
  - (1) 第 6 条 3 項（年次支部協議会は学校法人中央大学の評議員並びに中央大学学員会の副会長、常任幹事、幹事及び会計監事（以下「評議員等」という）を推薦する為選考委員会を置く。選考委員会の委員は、代表幹事が指名し、選考委員会の運営及び評議員等の推薦結果を年次支部協議会に報告し承認を得るものとする。）
  - (2) 選考委員会の運営及び推薦結果について
    - ①代表幹事が選考委員会開催日・選考委員を指名
    - ②選考開催日 平成 28 年 2 月 29 日（月）17：00～18：00 駿河台記念館 7 階談話室
    - ③選考 委員 代表幹事が 6 名を指名）  
・松木茂夫・山城博光・平岩弘邦・佐藤愛子・相場有二・半澤勉
    - ④運営方法  
・代表幹事の松木茂夫が委員長となり、各支部からの推薦者を一覧表にして選考委員の協議により選出した。  
・選考委員会総意により、現代表幹事（松木茂夫）と次期予定代表幹事（相場有二）の 2 名とすることを決定。

【第一回学員会役員候補者選考委員会】の内容について

(1)第一回学員会役員候補者選考委員会 2016年3月10日(木)

(2)概要

:平成28年度学員会役員改選数(年次支部協議会推薦)

- ・副会長候補者 年次支部 2名
- ・副会長候補者 平成年次 1名
- ・幹事候補者 11名(内常任幹事3名)
- ・会計監事候補者 1名

:今後のスケジュール

- ①候補者推薦依頼書各年次支部へ発送予定日・・・2016年3月14日(月)～3/15日(火)
- ②年次支部協議会の候補者締切日・・・2016年3月24日(木)
- ③年次支部協議会内に選考委員会を設置予定(会則6条3項)
- ④年次支部協議会選考委員会委員を代表幹事が指名(会則6条3項)
- ⑤学員会候補者推薦書提出日(締切日)・・・2016年4月1日(金)午後15時必着
- ⑥年次支部協議会全体会議・・・新執行部による第一回目 2016年5月14日(土)
  - ・学員会役員候補者の年次支部協議会内での選考委員会委員選任及び選考委員会の結果報告・承認について(会則第6条3項)
- ⑦2016年度学員総会・協議員会・・・2016年5月21日(土)

議題(7)の補足

【募金推進委員会(仮称)】の新設の報告について

- ① 中央大学学員会年次支部協議会会則6条4項(年次支部協議会は必要に応じて新たな委員会を置くことができる。委員会の運営目的は年次支部協議会に諮るものとする。)に基づき募金推進委員会(仮称)を新設する
- ② 目的
  - ・中央大学 中長期計画「CHUO VISION 2025」実現のため、年次支部協議会として協力を図る。
  - ・募金推進委員会は委員長に代表幹事・副委員長に事務局長・事務局次長の3名を持って構成する。
- ③ 今後大学からの要請があり次第、詳細について募金推進委員会にて検討する。

## 第25回中央大学ホームカミングデーのご報告

平成28年3月12日(土)

掛水省三

1. 日時 2016年10月23日(日) 10:00~16:00
2. 場所 中央大学多摩キャンパス
3. タイトル 第25回中央大学ホームカミングデー —白門学員祭—
4. 開催形態 主催:中央大学 協賛:中央大学学員会
5. コンセプト 中央を超える中央へ  
はばたけ! Chuo Vision 2025
6. 目標 8000人
7. 企画 ①新海誠氏(アニメーション監督)講演・アニメ上映  
②蓮池薫氏 講演  
③中央大学とオリンピックII  
④2011年卒業生向け企画(幻の卒業式)  
⑤駅伝部藤原新監督  
⑥女性向け企画  
⑦中長期事業計画について  
⑧こども向け企画  
⑨留学生企画  
⑩クラス会・ゼミOB会 (順不同)

以上現在まで2回開かれました中央大学ホームカミングデー運営委員会で決まったこと、また目下検討中のこと等を列挙させていただきました。

5月に予定されております次回の年次支部協議会では更に詳しく報告させていただきます。今回は動員目標が前回(4400名)の約2倍になっております。これは企画次第で充分達成可能な数字であると考えております。しかしそれも皆様のご協力があってこそのことです。どうぞ年次を挙げて、この目標が達成できますようご協力をお願い申し上げます。今後さらに企画内容を充実させて、多くの方々に多摩校舎に足を運んでいただいて思いっきり楽しんでもらえるようにしていきたいと思っております。

# 年次支部協議会平成27年度収支暫定報告

## 1. 収入の部

- (1) 年度会費納入協力29支部納入額。
- (2) 懇親会費は開催2回の参加者負担額。
- (3) その他の収入。
  - ①受取利息収入は普通預金上期、下期利息額。
  - ②模擬店売上(ホームカミングデー)は発生せず。
- (4) 事業活動助成金。
  - ①学生支援委員会実施事業・就職支援活動と広報紙・年次支部ニュース発行費への助成金。
  - ②年次支部活動費については就職支援活動は申請見送りと広報紙発行への助成金は申請する。

## 2. 支出の部

- (1) 会議会合費は懇親会費個人負担額と援助額。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会等開催通知、年度会費納入依頼送料。
- (3) 印刷費は全体会議、執行部役員会等の資料印刷代と年次支部用封筒の印刷代。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会資料用紙文具等の購入は未執行。
- (5) 手数料は事業実施費用等の振り込み手数料及び時間外取り扱い手数料。
- (6) 事業支援費
  - ①学員交流委員会は未実施のため。
  - ②学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動を実施。
  - ③IT化推進委員会は年次支部協議会ホームページの更新等管理費(1ヶ年分)。
  - ④広報活動費は年次支部協議会ニュース4号の発行費と送料等。(5号経費未確定のため未計上)

平成27年度年次支部協議会収支暫定報告  
(平成27年4月1日から平成28年3月12日まで)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差額	科目	予算額	決算額	差額
年度会費	300,000	290,000	-10,000	会議会合費	600,000	746,630	146,630
懇親会費	400,000	562,500	162,500	通信費	60,000	70,512	10,512
その他の収入	600	599	-1	印刷費	40,000	2,760	△ 37,240
利息収入	600	599	-1	消耗品費	10,000	0	△ 10,000
模擬店売上 (ホームカミングデー)	0	0		手数料	5,000	708	△ 4,292
事業活動費 (助成金申請)	1,130,000	700,000	△ 430,000	事業支援費	1,280,000	1,077,066	△ 202,934
学生支援委員会	330,000	0	△ 330,000	学員交流委員会	50,000	0	△ 50,000
広報部(会報発行)	700,000	700,000	0	学生支援委員会	330,000	137,619	△ 192,381
年次支部活動費	100,000	0	△ 100,000	IT化推進委員会	100,000	80,772	△ 19,228
				大学支援委員会	65,000	89,192	24,192
				スポーツ応援団	35,000	64,099	29,099
				広報部(会報発行)	700,000	705,384	5,384
小計	1,830,600	1,553,099	△ 277,501	小計	1,995,000	1,897,676	△ 97,324
前期繰越金	3,914,612	3,914,612	0	次期繰越金	3,750,212	3,570,035	△ 180,177
合計	5,745,212	5,467,711	△ 277,501	合計	5,745,212	5,467,711	△ 277,501

次期繰越金 ①普通預金 3,469,771  
②現金 100,264  
3,570,035

平成28年3月12日  
年次支部協議会  
会計幹事 平岩弘邦

## 年次支部協議会広報部 平成27年度事業報告

### 活動実績

年次支部協議会 会報4号・5号の発行

#### ① 発行内容

A 年次ニュース第4号は学员向け 1000部 10月20日発行

##### 内容

- 1、第24回ホームカミングデー（創立130周年を祝う白門の祭典）の案内  
当日の記念式典及び各イベント紹介等
- 2、ホームカミングデーに寄せて、支部からの報告  
祝卒業50周年（40会）、蘇る卒業式の思い出（44・45会）  
嘶家OBへの激励落語会報告（57ネット）
- 3、海外支部便り（モンゴル支部、ロンドン支部 の女性OG）
- 4、年次支部協議会委員会の主な活動報告
- 5、活躍する学生達～司法試験等の合格実績、活躍したスポーツ部門、文化連盟紹介等
- 6、今後の予定

B 年次ニュース5号は学员1000部及び新卒業生向け6000部 3月10日発行

##### 内容

- 1、新卒業生への祝卒業特集版～ 久野学员会会長より祝辞
- 2、年次支部協議会松木代表幹事からの祝辞、昨年12月開催の44・45会忘年会での2015年支部会員&2016年新卒業生との交流の様子
- 3、2016年卒業パーティ企画の案内 & 新卒業生代表達からのメッセージ
- 4、学员会紹介他、全国支部長会議・学员総会日程のお報せ、HPコンテスト開催案内
- 5、年次支部協議会の紹介、12月19日開催の全体会と室学员会副会長による「マイナンバー制度について」の講演会開催報告
- 6、ホームカミングデー報告（平成27年10月20日開催）
- 7、教職員からのメッセージ（駅伝経験者の経済学部教授と 国際交流センターの女性職員からの卒業生への応援メッセージ）
- 8、市政の場で活躍するOGからのメッセージ
- 9、白門りんごの会、第3回収穫体験ツアー報告と青森支部との交流会報告
- 10、男子バレー、アイスホッケー他、活躍した学生スポーツの他、正月駅伝の報告

##### 収支

4号（2015年10月20日）発行費	8頁	239,000円	（1000部）
5号（2016年3月10日）発行費	8頁	401,000円	（7000部）
他	送料等	51,880円	（4号の4）
合計		671,080円	（本部申請額700,000円）

（3月中に5号送料あり）

## 年次支部協議会広報部 平成28年度事業計画

### 1、 事業の名称

年次支部協議会 会報の発行 及び 年支部協議会広報活動

### 2、 事業主体

中央大学学会年次支部協議会 広報部会（担当責任者 佐藤愛子広報部長）

### 3、 事業目的

- ① 会員全体の緊密なネットワークを構築するために、定期的に会報を発行しホームページの推進と共に、年次支部協議会の広報活動を活発化させ、中央大学の貢献に寄与すること
- ② 会員や学生への広範囲な取材を通じ、年次、地域、職域を超えて参加出来る様な大学関連行事、支部活動の様々な情報を提供することにより、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする
- ③ 現役学生に対する就職支援、進路相談の情報を提供する
- ④ 新卒会員に対しての学会及び年次支部協議会のPRや多くの著名なOB会員の紹介シリーズの掲載も含め、卒業後のサポート体制作りを推進していく

### 4、 事業概要

年間2回程度の会報発行予定

- ① 年次支部協議会事業計画、活動報告、各委員会活動報告
- ② 各支部活動状況紹介、イベント・交流会案内
- ③ HCD等の大学関連行事、学生スポーツ応援、演奏会、講演会等の案内、活躍している学生・サークルの紹介
- ④ 会員OBへの学生支援（就活・復興支援などボランティア活動）の協力依頼
- ⑤ 従来は会員時報、各支部の会報に委ねてきたが、他の情報誌に紹介されないようなオリジナルな記事、会員の声を掲載する

### 5、 期待される成果

- ① 会員及び準会員に年次支部への加入を促し、年次支部協議会の存在認識や学会の活動内容の理解がない多くの一般会員にPR効果が期待できる
- ② 会報発行が年次や地域を越えた一般会員、若い世代への幅広い情報提供になり、交流機会の増加、学生への支援活動等の宣伝が、会員及び準会員の大学ネットワーク構築にも貢献出来る

会報発行実施時期

平成28年度は、28年10月、29年3月頃に2回発行予定

### 6、 会報発行予算案

会報発行部数：

10月発行1000部（配布先：各支部500部、本部配布300部、その他200部）、

3月発行 7000部（配布先：準会員6000部、この他10月発行と同じ部数）  
会報発行予算：

・総額 700,000円の内

・学会本部への支援申請額：700,000円

① 6号（1000部）250,000円      ② 7号（7000部）420,000円

② 会報送料他 30,000円

# 2015年度実施総括

## 学生支援委員会

2016年3月12日  
年次支部協議会

### 2015年度実施総括(1) 進路相談会

#### 1. 実施内容 (Do)

##### ・外国人(留学生向け)相談会の実施

日程: 2015年11月14日

規模: 内定者1人×就職活動生2人

内容: ①オープニングガイダンス、企業側からみた外国人採用で重視していることを説明  
②進路相談会(来年からJTBアジアパシフィック入社の内定者)

##### ・若年卒業生(入社3年目迄)が相談員となる進路相談会の実施

日程: 2015年11月14日

規模: 社会人(協力者・内定者)8人×就職活動生6人

内容: ①オープニングガイダンス、進路を考える上で、多様な価値観に触れる必要性について  
②進路相談会(社会人4名・内定者4名)

#### 2. 振り返り(Check)

##### 1. 参加人数

学生は、当初想定以下の人数

同時期実施の就職支援会社による外部セミナーも軒並み空席が目立ったとのこと(某社情報)

##### 2. 実施形式

①参加者による実施満足度は例年以上だが、如何せん参加人数が少ないのと、参加者のモチベーションが低く、本年においては判断が難しい。

②参加社会人(若年層)・内定者(4年生)の質的向上が図れ、彼らのネットワークは今後も必要。

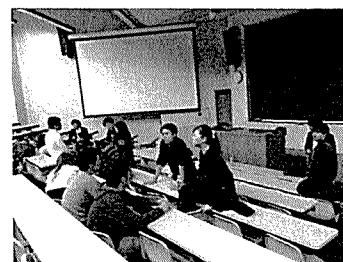
##### 3. その他

①広報周知不足が一番の失敗要因

②教室確保も例年苦勞、時間を要した

③後述する外部環境も大きく揺れ動いた時期であり、本格的な活動の予兆すらみれなかった時期。

④モチベーションの高い学生は、既に学外で活動を開始していたことも、多数の就職支援会社データより裏付けあり。  
企業のインターンシップ等に参加していたのではないか。





# 2015年度実施総括(2) 進路相談会

## 1. 実施内容 (Do)

### ・進路相談会の実施

日程: 2015年12月5日

規模: 社会人(協力者)12人×就職活動生8人

内容: ①南甲倶楽部とのコラボレーションにより実現した、中央大学OB/OGによる基調講演

②進路相談会(被相談者は20代半ばから30代前半が主)

③オリエンテーション(クロージングガイダンス)



## 2. 振り返り(Check)

### 1. 参加人数

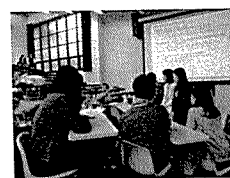
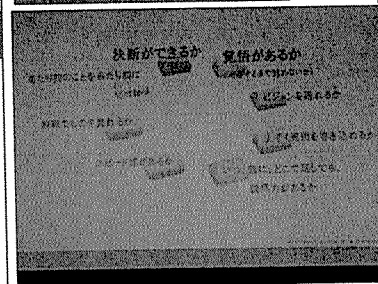
社会人: やや下回る人数(今回も3分の1程度の入れ替えを実施、目指すゴール目標に共感する社会人を起用)  
 学生: 大幅に想定以下、多数の学生はまだ様子見、モチベーションの高い学生は企業のインターンシップ等に参加? 二極化がますます進んだ年といえる。

### 2. 実施形式

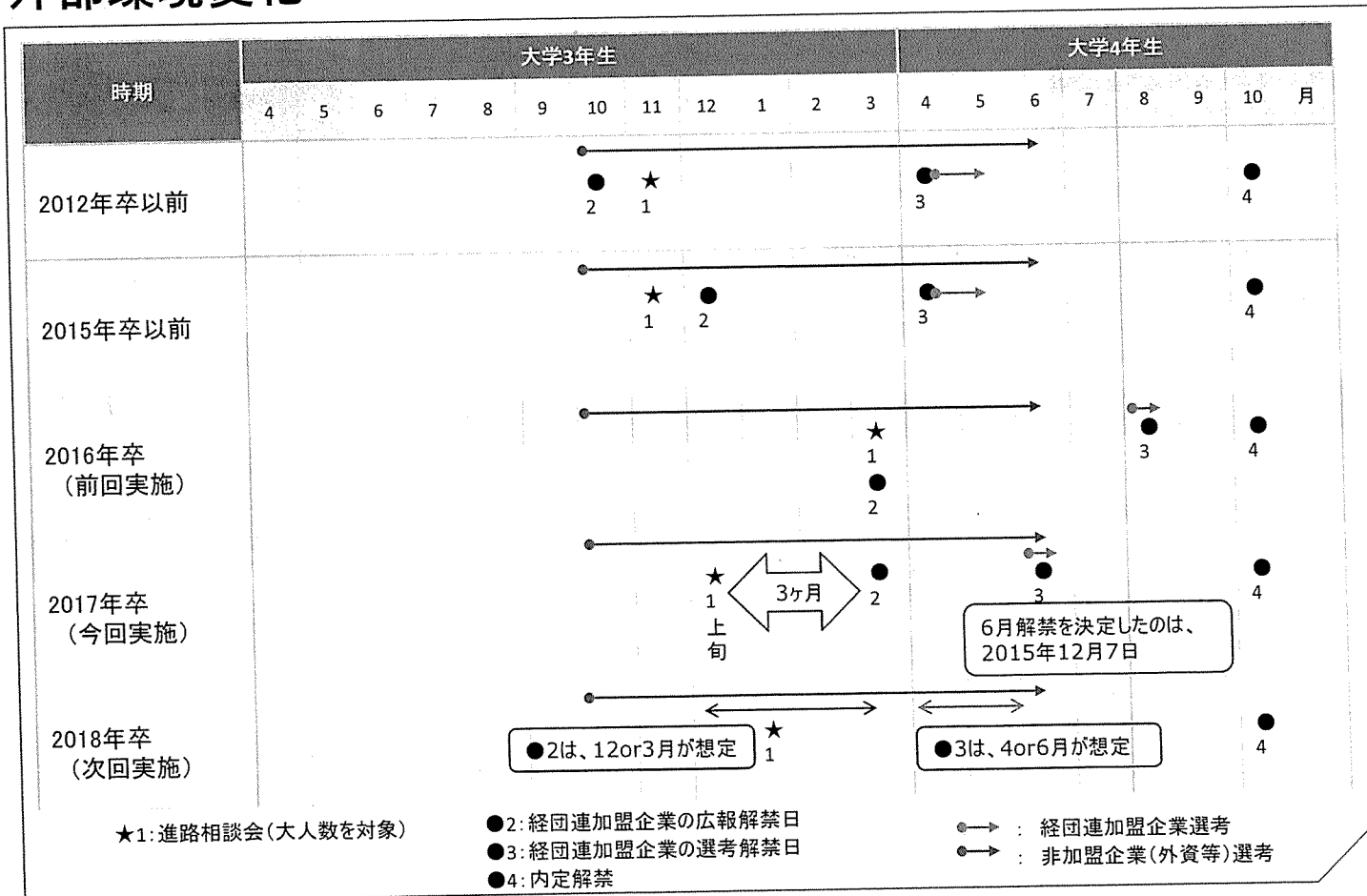
- ①基調講演 (大和ハウス工業株式会社 取締役常務執行役員 芳井 敬一様)、  
 残念ながら学生にあまり響かず、若手社会人からかなりの好評価を得る。テーマをグローバルに舵をきったからか。
- ②進路相談会: 社会人年齢について、30代前半を厚めに声掛けを行うも、いまいち集めきれず。  
 多様化された価値観に触れる機会提供については、例年通りの評価。社会人選定については、一部見直す。

### 3. その他

- ①広報周知不足が一番の失敗要因。学生の情報入手手段を分析する必要あり。  
 内定者(4年生)の声として、モチベーションの高い3年生にアタックするなら、学内PRだけでは不十分との声あり。
- ②学生団体(CANVAS+)の弱体化も広報周知不足の一因。(現在、3年生3名、2年生3名、1年生1名)  
 モチベーションの高い、各種学生団体への接触は不可欠な状況。
- ③加えて、南甲倶楽部とのコラボレーションも告知が十分にできなかった。モチベーションの高い学生との早期接触で彼らに伝道師となるような我々の仕掛けも今後必要と史料。
- ④協力社会人の選定は、従来の考え方に固執する方については一旦登板を見送るなど、我々のゴール目標に共感できる社会人を選定する必要あり。今回、改めて浮き彫りとなった。



## 外部環境変化

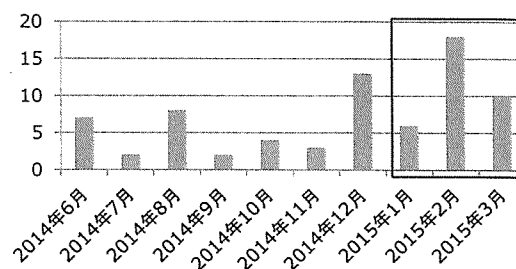


# 昨年度アンケート(再掲)による振り返り & その他

## 【学生アンケートの結果】

- 1 学生約90名の参加者のうち、73名が回答(男女:31・42)
- 2 就職活動開始時期、2015年年明け以降に本格開始が参加者の約半分弱(46.5%)  
インターンシップ経験者等活動開始から半年以上経過した学生は26%に留まる
- 3 社会人と話ができたというだけで満足する学生が非常に多い(定性情報より)のだが、  
社会人との対話内容による満足度・好評価ではない
- 4 この就職活動開始時期をキーに分析した結果
  - ・冒頭のオリエンテーションのみ好意的満足度の低い(5段階の2・1をつけた)学生が少数だが散見
  - ・上記学生の共通点は開始時期の遅さ(2015年年明け以降)。彼らの定性コメントには、  
内容がわかりづらい・事前にテーマを提示してほしいという記載あり
  - ・一方、半年以上準備している学生の好意的満足度の高い(5段階の5・4をつけた)学生が大半、  
内容に関する不満意見が一切ないことから、オリエンテーションの方向性は間違っていない。
  - ・よって、活動初期の学生に対して平易に理解しやすい内容を施すのであれば、早めの開催を要検討。  
⇒ここを見直す。活動初期の学生と多数の一般学生を一軸で考えることに無理があった!
- 5 希望業界はここ数年の傾向と同様、銀行・証券・保健といった金融業界と食品業界が多い  
このことから、安定志向の根強さがうかがえる。一方、昨年は多かった総合商社志望が減少、  
逆に広告業界を志望する学生が対前年で増加していることが特長。
- 6 3月にして、第一志望業界が未定であるという学生が半分もいることが例年にない傾向。
- 7 この傾向は価値観においてもいえ、一番大事にしている価値観がわからないという学生が半分以上。  
複数選択している方の価値観は、自己のやりがいよりも給料・福利厚生・勤務先が気になる様子。  
⇒ここを見直す。活動初期の学生は必ずしも、この価値観ではない。ピンポイントでアプローチする。  
年次支部(若手)と学生のネットワークを最大限利用し、将来の年次支部設立の礎を築く。

活動開始時期と人数



よく利用しているSNSは？あてはまるものをすべて選んでください(複数選択)  
※回答者数を母数に集計

選択肢	全体
・LINE(ライン)	95.3%
・Twitter(ツイッター)	71.8%
・Facebook(フェイスブック)	51.2%
・mixi(ミクシイ)	1.6%
・Google+(グーグルプラス)	3.1%
・GREE(グリー)	0.4%
・Mobage(モバゲー)	1.0%
・Instagram(インスタグラム)	21.1%
・pixiv(ピクシブ)	6.6%
・Ameba(アメーバ)	4.1%
・その他	1.2%
・SNSは使わない	1.6%

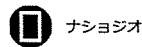
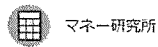
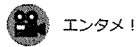
## 【その他】

- 1 先日より、イベント実施時期が例年と比較して早かったことが失敗の要因。  
しかし、外部環境も年々変化していることから、その変化に対応しうる柔軟な時期設定も要検討。
- 2 某社の右記データより、学生が情報を入手する手段として、SNSにかなりシフト。  
そのうち、LINE・Twitter・Facebook が主流であることが判明。

## まとめ(4C分析)

<p><b>CompanyならぬCommittee</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 強み 2016年活動方針のミッション・ゴールを参照</li> </ul>	<p><b>Competitor</b></p> <p>就職支援会社ではないので、取組そのものが競争に打ち勝つといった性格のものではない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 外部環境対応 他大学の優秀層学生とのギャップを埋めるトライアル施策</li> </ul>
<p><b>Co-operator</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学生会本部事務局・南甲倶楽部 従来からの関係を益々強化させる</li> <li>➢ 中央大学キャリアセンター・国際センター 適切なコミュニケーションを図り、相互に関係を正しく理解する 国際センターとは二度のトライアルを経て一旦総括を行う</li> <li>➢ 協力社会人 我々のゴール目標に共感できる人・学生に多様な価値観を提供できる人・学生のキキタイことを的確に捉え、各種経験から助言できる人、これらの要件を満たすOB/OGへ早期接触&amp;スケジュール確保を行い、相談会の質的向上を図る</li> </ul>	<p><b>CustomerならぬConsumer</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学生を大きく2グループに分けて接触 早期活動開始の学生、一般的な大多数の学生の2グループ 早期活動開始学生へはピンポイントアプローチを実施予定 学生の顔が見えている優秀な若手社会人(20代前半)の協力が不可欠</li> <li>➢ 若手支部設立への足掛かり 優秀層と呼ばれる学生が担うことを想定。柔軟な進路相談対応を通して、学生とおしが本支援の重要性に気づきかけの提供。将来の支部設立準備に繋げる</li> </ul>

日経電子版



働き方・社会貢献

職場の知恵

## OB・OG 出身大で愛のムチ面接特訓

f シェア    ツイート    クリップ

2016/2/9



「入社面接は恐怖の一言です」。2016—17年に就職本番を迎える大学3年生のこんな思いを救おうと、学習院大学や中央大学のOB・OG数百人が、母校で面接のノウハウを教える特訓セミナーの講師を買って出ている。面接の疑似体験を重ねさせ、本番で全力を出せるようにするのが目的で、他大学は強い関心を寄せている。

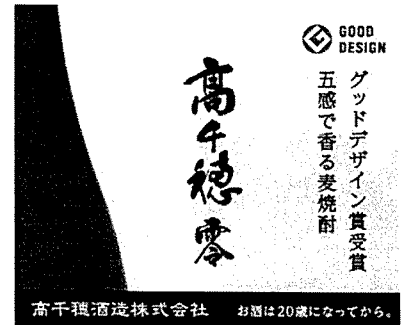
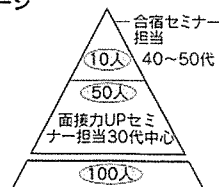
### ■ 学習院と中央大、疑似体験重ねノウハウ伝授

連休の1月10日午前8時すぎ、東京・豊島の学習院大学に、20～60代の企業人OB・OG316人が勢ぞろいした。彼らは同大学キャリアセンターが毎年開く3年生向け「面接対策セミナー」の講師だ。3、4人で班をつくり2日間にわたり希望学生1297人に面接の稽古をつける。

ある教室では投資顧問会社の課長、春日倫さん（45）と日本ホテル（東京・豊島）係長の平山寿美枝さん（34）が学生と相対していた。春日さんが最初に与えた課題は「手短な自己紹介」。学生の答えは「自分はハングリー精神では負けない」「好奇心と行動力があり努力を惜しみません」など抽象的だ。

学生の言葉が一巡したところで春日さんが口を開く。「あなたたちの自己紹介にはPRが織り込まれていない。性格説明だけでなく、自分の学生時代の軸になる体験は何かを分析し、その軸に結びつけて具体的にPRすること」。平山さんもさりと指摘した「『自分は』は学生言葉。社会人は『私』か『わたくし』を使う」。

### 中央大学OB・OGの協カイメージ



### Daily Ranking

- By NIKKEI STYLE -

- マネー研究所  
1 昨年受け取った保険の満期金 確定申告どうなる？
- WOMAN SMART  
2 僧侶が教える、ネガティブ感情が消える心の習慣  
日経ウーマン
- トラベル  
3 日本の名所、訪日客に聞け「SNS映え」が人気
- マネー研究所  
4 運用の極意、時代の潮流をつかむには（藤野英人）
- MONO TRENDY  
5 「リュックは肌」 独創的デザインの心を聞く  
日経トレンドネット

NIKKEI STYLEの最新情報をお届け



### keyword

- |         |           |
|---------|-----------|
| アート&レビュ | 家計        |
| くらし&ハウス | 株式・投信     |
| フード     | 外貨投資      |
| トラベル    | 不動産・住宅ローン |
| ヘルス     | 保険        |

2日で学生が体験する面接はグループ討議、集団、個人など6~7回。「現段階の学生は自分に何が足りないのかわかっていない。彼らが自分を知り、明日から何をすればよいか理解させることがゴール」(平山さん、春日さん)。自己理解と面接スキルの2方向の向上が狙いだ。

OB・OGの交流会のハネリスト  
上記セミナーの講師候補20代~



ウーマン 年金・老後  
趣味・D.Oスポーツ 相続・税金  
働き方・社会貢献 コラム

中央大学は卒業生を講師に据えた2種のセミナーを開いている。1泊2日の合宿セミナーと、大学で2日間開く「面接力UPセミナー」だ。同大キャリアセンターキャリア支援課長の池田浩二さんは「合宿は自己分析、面接力UPセミナーは自己表現力の伝授を狙っている」と話す。合宿セミナーは講師10人と学生120人、2月中に開く面接力UPセミナーは講師50人と学生400人の規模だ。



学生の面接指導を行うために集まった学習院大学のOBら(東京都豊島区の学習院大学)



中央大の面接指導は1981年に始まった洋上セミナーに端を発し、95年に合宿セミナー、12年から面接力UPセミナーを加え、形を変えながら続いってきた。「いずれも30~40代の卒業生が後輩のために手を上げて講師になる。所属企業で活躍している人が多い」(池田さん)。大学は講師の能力を見極めたり、学生に人気の企業のOB・OGの参加を呼びかけたりして、水面下で努力している。現在はセミナーの種類に応じ約160人の現役企業人と協力関係を保つ。

学習院大の面接対策セミナーが始まったのは91年、講師6人、学生45人で始まった。草創メンバーで、当時企業勤務だった大学キャリアセンター担当事務長の淡野健さんは「筆記は通っても面接で自己表現がうまくいかず落ちる学生が多かった。その悩みを就職部長から聞いた部活動OBが中心になり、小規模のセミナーを始めた。卒業生のつながりで、年々規模が拡大した」と話す。

講師は参加者の紹介で決まるが、規模が拡大した今は「コーチングを中心にと話している」(淡野さん)。

両大学ともOBの勤務先のリクルート活動とは一線を引く。学習院大では社名を明かさないのである。OBや所属企業に見返りはないが、春日さんは動機に「母校への愛情、後輩への貢献、OBの仲間意識」の3点をあげる。

春日さんは「講師は自分試しの場」と感じていた。「学生の反応で、自分の言葉がどの程度通じたかわかる。就職が決まったとの知らせを何割の学生がくれるかで、セミナーへの満足度が明らかになる」。これまでは半分ほどから知らせが来たという。

両大学が卒業生に頼るのは、内部人材だけでは経済動向や、企業の採用意識の変化の速さに対応できないと自覚しているからだ。最近の企業は学生に即戦力を期待するより、人物重視に回帰している。アイテム(東京・新宿)の「2016年度新卒採用に関する企業調査」では重視する点として「人柄・性格」が91.8%と「志望動機」の67.7%を上回る。

企業がどんな人柄を求めているか、空気感を最も良く知るの働いている人そのもの。

面接対策セミナー2日間の内容

1月10日	グループディスカッション
午前9:30	
10:00	同ディスカッションの講評
10:30	自己紹介の練習
11:00	2日間の「ゴール」の確認
11:15	履歴書の記入説明
11:45	昼食
12:30	入退社マナーの練習
午後1:00	集団面接の演習(ロールプレイング、相互コメント)
2:30	面接官として質問を考える
3:00	個人面接の演習(ロールプレイング、相互コメント)
5:00	内定した4年生の体験を聞く
6:00	1日の振り返り、質疑応答
1月11日	個人面接の練習(ロールプレイング、面接官体験、相互コメント)
午前9:30	
12:00	昼食
午後1:00	他班に移動し面接の交流戦
3:30	2日間の振り返り、講評
5:00	大学ホールで全体会合

(注) 学習院大の例

両大学はOB・OGの善意を活用して、学生に実態を伝えているわけだ。学習院大にはここ数年で約20の公私大学の視察があり、この手法は他大学にも拡大する可能性がある。

一流人が実践する健康マネジメント術  
**カラダ資本論**

1日1食主義で思考がクリアに  
(星野リゾート・星野氏)

観光リゾート業界のトップランナーとして注目を集める星野氏は、実はここ数年「1日1食主義」を貫いているという。

その理由とは? 記事の続きはこちら >

Trend Watch [PR]

一覧

JR中央線城西エリア特集  
個性豊かな街が連なるJR中央線沿線の「ザ・パークハウス」を紹介/三菱地所レジデンス



銭湯へ行こう  
銭湯絵師と建築家が対談、心も体も癒してくれる銭湯の良さととは/積水ハウス



猫の可愛い瞬間をパチリ!  
猫はなぜいつも意匠を選ぶのか? たくさんの写真から見えてくるその理由とは/YKK AP



もてなしの粋を味わう  
至れり尽くせり接待の名店

NIKKEI 263 大人のレストランガイド

[PR] 中学生英語でビジネスを乗り切るには/GlobalEnglish 日経版

[PR] 一流のビジネススキルを身につける/日経ビジネススクール

# 2016年度 活動方針

## 学生支援委員会

2016年3月12日  
年次支部協議会

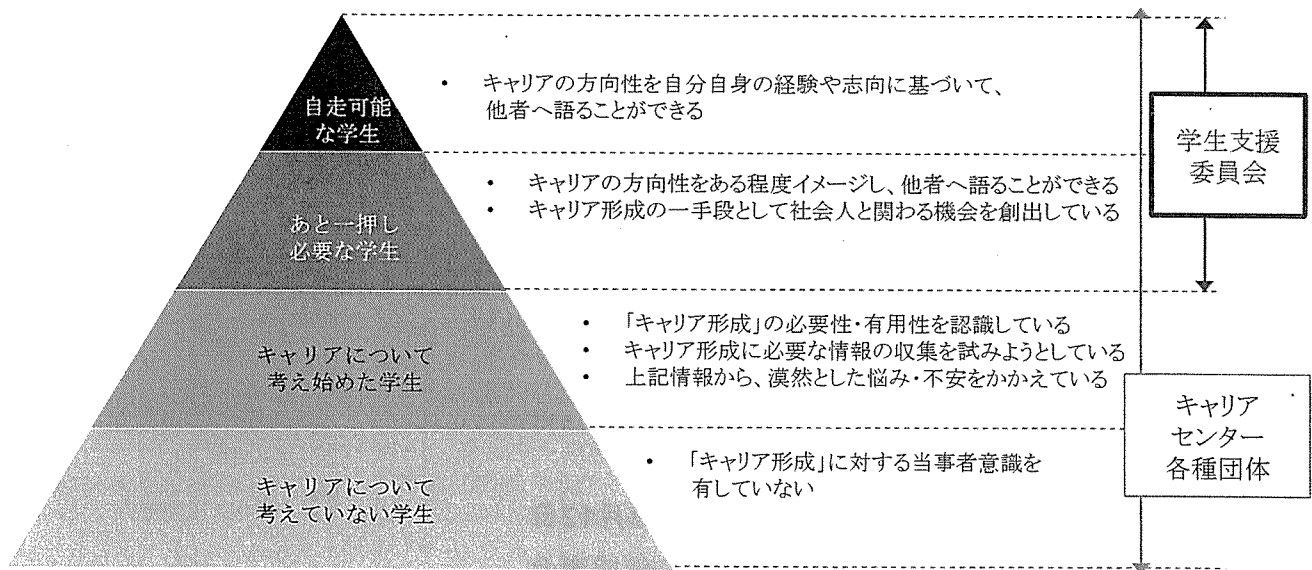
目指す姿

ミッション・ターゲット・ゴールは昨年度を踏襲する想定ですが、学生(卒業生)に対する社会の要請を検討のうえ、適宜修正を加える場合もあります。

ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。</li><li>● その機会(学生と社会人の接点)を通じて、学生があと一步で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。</li></ul>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者(学生/社会人)との対話を通して自覚できる学生</li><li>● あるべき姿に近づくために粘り強く努力する行動力(実現力)のある学生</li></ul>
ゴール	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生は他者(学生/社会人)との対話を通して価値観の多様性を認識し、キャリア選択の自走化に繋げる。</li><li>● 学生支援委員会は、自ら切り開くキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。</li><li>● 支援策を通して、卒業後の年次支部立ち上げに寄与するネットワークの構築に繋げる。</li></ul>

※中央大学の「Go Global」などの方針に呼应するよう、内容や協力者を工夫することも想定しています。

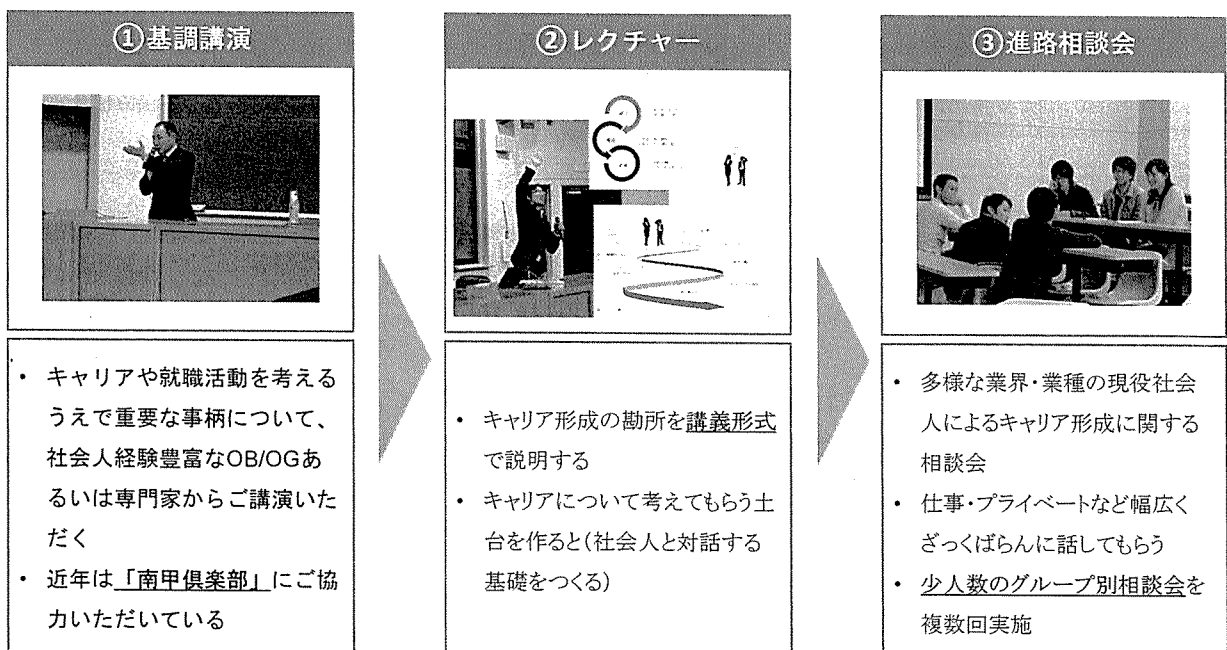
(参考)学生支援委員会の支援対象者のイメージ



11 March 2016  
3

学生支援委員会の支援内容

キャリア形成(就職活動)を検討し始めた対象学生に対して、現役社会人を中心とした講義型・対話型併用のプログラムおよび講演会を実施する。



※参加者や会場の関係からプログラムの順序は変更となる場合もあります。

11 March 2016  
4

2016年度	3~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マイルストーン	★キックオフMTG					★プレイベント(TBD)★		事業/会計報告★	
戦略	戦略策定	協力者リスト作成	協力者依頼	協力者確定					
	スケジュール確定	内容検討		内容確定					
運営管理	日程調整		社会人等調整						
	会場調整								
	会場確定								
広告宣伝		デザイン企画					冊子準備		
		学内配布箇所との調整					印刷		
				Webページ作成	WebページUP	印刷・掲示/配布	LINE, twitter, Insta拡散		
その他	学生スタッフ募集								
関係者									

11 March 2016  
5

PRコンセプト：少人数で社員の本音が聞ける貴重な機会である事を学生に訴求！

## PRコンセプト

### ■【PRコンセプト】

- ・メッセージ=社会人と少人数で話ができる事のメリットを訴求  
※聞きたい“本音”が聞ける
- ・参加社会人企業名=大手（グローバル要素）、外資（選考を進めるかの確認）、ベンチャー（勢い）で数社記載
- ・実施概要（スケジュール、場所、内容）



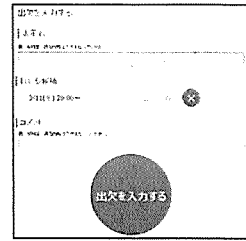
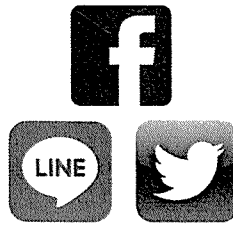
### ■【必要な事】

- ・チラシ配布開始の3ヶ月前までに、会場、スケジュール、コンテンツ、参加社会人の決定
- ・ターゲットとする授業、イベントの洗い出しと配布許可
- ・信用度が高い掲示板への掲載許可
- ・プレイベントで伝道師となりうる学生への接触
- ・在学生内の情報伝達網の把握と拡散が当たり前のようにできること（主体性の高い人達で形成）
- ・webランディングページにおける“参加ボタン”の設置（出来ればリマインダへの連携）

(参考)PRプランイメージ

■【制作物】

- ・チラシ
- ・ポスター（サイズ：B1予定）
- ・twitter、LINE拡散用画像
- ・webページ



■【配布、リーチ先】

- ・チラシ=企業研究、インターン、キャリアデザイン系の授業後配布  
=合同説明会、自己分析、学生イベント就活イベント後配布

→目的：興味を抱き易いであろう学生へピンポイントで情報伝達

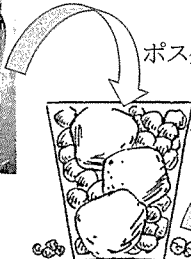
- ・ポスター=キャリアセンター、学内掲示板へのみ掲出（サイズ：B1予定）

→目的：情報信用度の高い掲示板への掲出に絞り、  
チラシでリーチ出来なかった学生をカバー  
チラシでリーチした学生へのフォロー

- ・twitter、LINE=上記チラシ、ポスターでリーチ出来ないユーザーへの訴求  
Facebook

→目的：大学へ足を運ばないユーザーへの訴求  
休校期間中のイベント参加予定学生のモチベーションフォロー

チラシで気付かせ!



ポスターでフォロー!

Webで再フォロー!



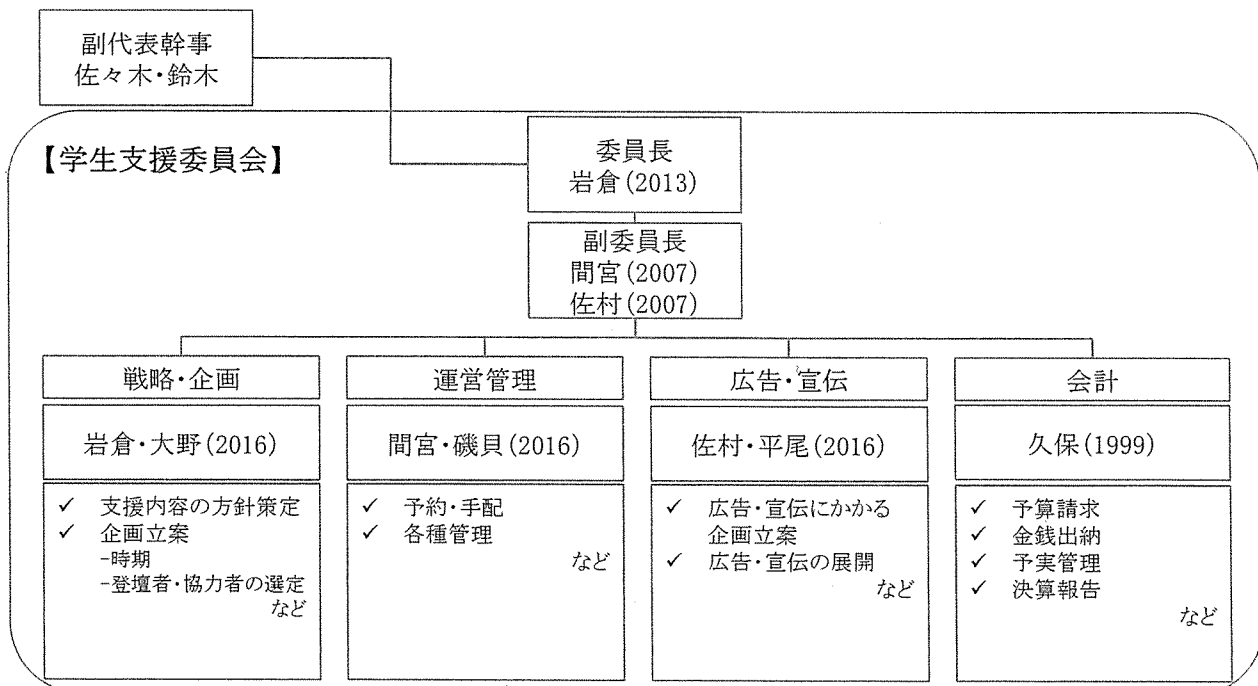
■【導線】

- ・チラシ、ポスター→QRコード撮影→webページへランディング→参加ボタンクリック  
(※参加ボタンクリックにより、個人のスケジュールに自動連携され、リマインドが出るように出来るのが理想)
- ・twitter、LINE→webページのURLと共に拡散→以後上と同じ

11 March 2016  
7

体制図

社会人を中心に本委員会の活動を推進しますが、必要に応じて学生と連携し、協働することも想定しています。学員会の活性化につなげます。





2016年度	3~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~3月	金額
マイルストーン	★キックオフMTG				★プレイベント		事業/会計報告★	★学生支援企画	
スケジュール表より抜粋		協力者リスト作成	協力者依頼	協力者確定	学生支援企画準備				
デザイン企画		デザイン企画							50,000
【各種制作費】 チラシ ポスター Web媒体				プレ冊子準備・印刷	企画冊子準備・印刷				50,000
			チラシ・ポスター作成		印刷・掲示/配布				60,000
			Webページ作成	WebページUP	LINE, twitter, Face拡散				60,000
当日の昼食・飲料費用					★プレイベント		★学生支援企画		60,000 1200円×50人 2回分合計で
その他			プレイベント企画・準備 (ピンポイントアプローチ)		各種消耗品				50,000

合計: 330,000

11 March 2016

その他

学生支援委員会の活動を推進するために、大学内組織に対してお願いをすることがあります。ご協力頂けますようお願いいたします。

《スケジュール》

- ✓ 大学（キャリアセンター）とのスケジュール調整

《広告宣伝》

- ✓ 学内掲示板の利用に関する確認（学部掲示板等）
- ✓ 学内での案内に関するご協力